

令和8年度 学校経営計画書

※ A4用紙1枚にまとめて提出してください。

学校名	倉敷市立児島小学校
校長氏名	寺山 泰史

○ 本校のミッション（使命、存在意義）

教育は人格の完成を期して行われるものである。無限の可能性を有する児童が、自らの学習によって物事を知覚・観察し、その資質及び能力によって自らの人間性を開花・成長させていく過程で、児童一人ひとりの人格の完成を目指したい。そのために学校は「学びの場」を提供し、地域や家庭と協力しながら児童の育ちについて考え支援して、すべての児童に学びを保障するところでありたい。児島小学校に通い、児島の地域で育ってよかったと思える基盤づくりを推進していきたい。「学校は楽しい、学校は安全」を基本理念とし、豊かな心を持ち、いきいきと学び、たくましく生きる子どもを育てる。【学校教育目標】

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

<目指す学校像>
○ 児童にとって「楽しい」と感じられる学校
学校は「自分の居場所」があるところでなければならない。子どもたちが学び合い「分かるようになり・できるようになる」ことに喜びを感じ、ともに育ち合っていけるような授業を目指し、その中で学力を保障するとともに、更に人としての全人的な成長を促せるようにしていきたい。
○ 児童・保護者・地域から信頼され、安心して任される学校
信頼され安心できる学校・教師であるために、対話や互いの理解を大切にすることで信頼関係を築きたい。また、教職員の連携を密にしながら、一人ひとりの力が発揮できる集団でありたい。
○ 地域の方が「自分たちの学校」だと思える学校
保護者や地域の方が子どもの教育に関心を持ち、子どもの成長と一緒に考えていただけるような関係を築きたい。細やかな連絡・連携により、保護者・地域・教職員がしっかりと繋がり合えるところでありたい。
<目指す児童像>
○ 進んで学ぶ子【知】 ○ 思いやりのある子【徳】 ○ 心も体もたくましい子【体】

○ 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

1 主体的な学びを通し、確かな学力の向上を図る。【知】 =学力UP！=
(1) 実効性のある朝学習を戦略的・計画的に実施し、学力の定着・伸長を図る。
(2) 主体的・対話的な視点からの授業改善を進める。(授業ファイブの徹底・ICT環境の活用)
(3) 困り感のある児童・支援を要する児童へ配慮した「分かる授業づくり」に努める。
(4) 授業の基盤となる基本的な学習規律の徹底を図る。

2 前向きな学校生活を通し、豊かな心の育成を図る。【徳】 =心力UP！=
(1) 基本的な生活指導の徹底を図る。
(2) ポジティブな行動支援を推進し、児童の自尊感情や自己肯定感を高める。
(3) 互いに尊重し合える温かな学級経営に努め、集団としての連帯感・充実感の高揚を図る。
(4) 安全で美しい学校となるよう、環境整備を推進し清掃教育の充実を図る。

3 健やかな体の育成を図る。【体】 =体力UP！=
(1) 家庭との連携を図りながら、基本的な生活習慣の定着を目指す。
(2) 体育科授業や業間体育での工夫に取り組み、体力向上を図る。
(3) 食育や防災・防犯教育、健康教育等を通して、健康安全に対する意識を高める。

4 保護者や地域から信頼される学校づくりを推進する。 =連携力UP！=
(1) 保護者の立場に立ったきめ細やかな対応に心がける。(児童の健全育成が軸)
(2) 積極的な情報発信を行うとともに、保こ幼稚園・中学校・関係機関との連携を図る。

5 全教職員の資質能力の向上を図り、指導力・組織力の向上を図る。 =学校力UP！=
(1) 校内研修(OJT)を計画的に実施し、教科指導・生活指導における指導力の向上を図る。
(2) 報告・連絡・相談・確認を徹底するとともに、共通理解・共通実践を推進する。
(3) 事案への対応は、個が抱えることのないよう「チーム対応」を原則とする。
(4) 「働き方改革」を具現化し履行する。風通しの良い職場づくりに努める。

6 「児小愛」をベースとした「新生・児島小」への変革を目指す中で、本校に関わる全ての者にとって「楽しさ」や「充実感」「満足感」を得られるような教育活動を展開し、「児童の学力向上・健全育成」と「働きがいのある職場づくり」を推進する。